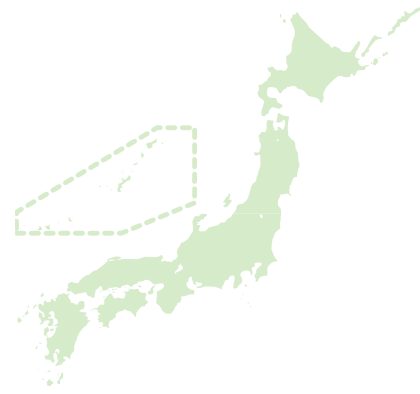


令和元年度 「言語聴覚の日」イベント報告



秋田県

秋田県言語聴覚士会は、10月6日(日)に秋田県JAビルを会場に公開事業として多職種連携推進研修会を開催しました。

今回は、『認知症予防の観点から考える難聴対策』をメインテーマに第1部は愛知医科大学耳鼻咽喉科の内田育枝先生をお招きし「高齢難聴者ー補聴器開始で認知機能はどうか?」と題して基調講演をしていただきました。また、第2部では「高齢者で聞こえにお困りの方の現状と課題」としてシンポジウムが行われ、介護支援専門員・補聴器技能者・言語聴覚士の3名から、高齢難聴者との接し方や補聴器の仕組み、対応等お話をさせていただきました。参加人数は65名で、医師・看護師・リハビリテーション専門職などの医療職だけでなく行政・介護・福祉関係から一般の方々まで多くの方においで下さいました。

毎年行われているブースコーナーとして、参加者を対象に、聴覚に関わる機器、書籍、パンフレットを展示し、各種相談・仕事内容の紹介をしました。

多職種の相互理解が促され、言語聴覚士をアピールできた良い機会となりました。

今後も引き続き、言語聴覚士の活動を広く知っていただけるような活動を継続していきます。

秋田県言語聴覚士会
事務局 深瀬貴史

